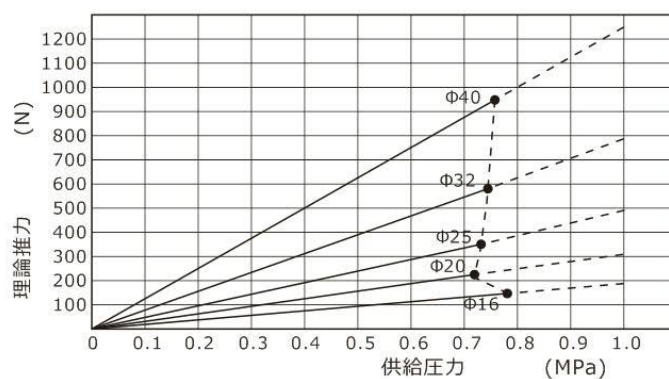


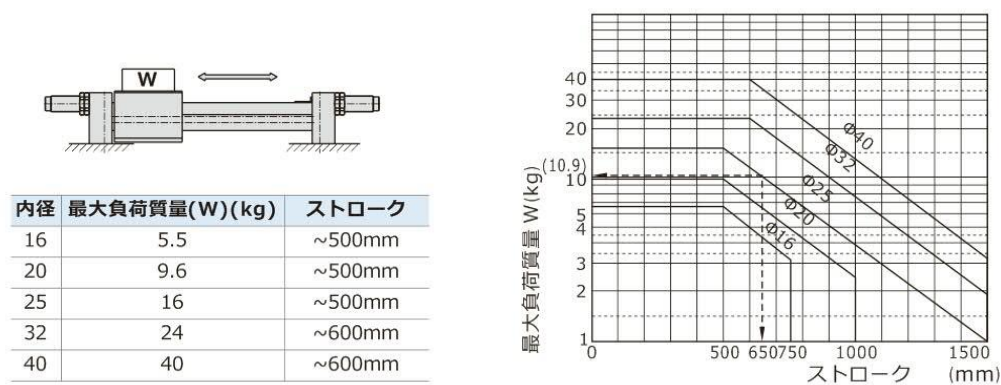
取付及び使用

1. 積載負荷質量

1.1. シリンダの正常作動を確保するため、積載できる負荷質量、最高使用圧力に制限が生じます。ご使用条件の積載負荷質量、使用圧力が下表の値以内であることをご確認ください。



1.2. スライドブロックに負荷がある場合、ストローク制限負荷質量は下記通りになります。



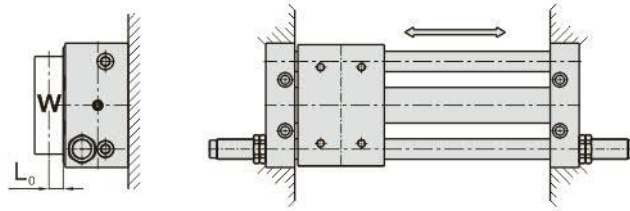
1.3. シリンダを使用する際、できるだけ負荷重心をスライドブロック重心に一致させ、それができない場合、各取付姿勢での負荷質量値を算出してください。負荷係数 σ の算出

例) シリンダ内径: 25mm、ストローク: 650mm

- (1) 最大負荷質量=16kg
- (2) 650mm 時、許容負荷質量=10.9kg
- (3) $\sigma = 10.9/16 = 0.68$

注) $\Phi 16-500\text{mm(st)}$ 、 $\Phi 20-500\text{mm(st)}$ 、 $\Phi 25-500\text{mm(st)}$ 、 $\Phi 32-600\text{mm(st)}$ 、 $\Phi 40-600\text{mm(st)}$ 使用状況下、 σ 値取 1。

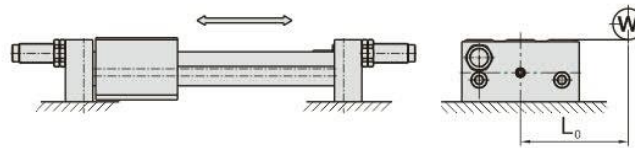
1.3.1. 水平動作（垂直取付）



注: L_0 単位:cm

内径	16	20	25	32	40
最大負荷 質量 W(kg)	$\frac{\sigma \times 36.4}{10.6 + 2 \times L_0}$	$\frac{\sigma \times 74.4}{12 + 2 \times L_0}$	$\frac{\sigma \times 140}{13.8 + 2 \times L_0}$	$\frac{\sigma \times 258}{17 + 2 \times L_0}$	$\frac{\sigma \times 520}{20.6 + 2 \times L_0}$

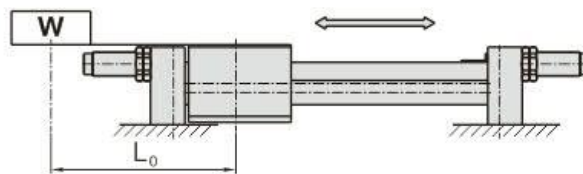
1.3.2. 水平動作（負荷重心がスライドブロック重心より離れる場合）



注: L_0 単位:cm

内径	16	20	25	32	40
最大負荷 質量 W(kg)	$\frac{\sigma \times 25.48}{5.2 + L_0}$	$\frac{\sigma \times 52.1}{6.2 + L_0}$	$\frac{\sigma \times 98}{7.0 + L_0}$	$\frac{\sigma \times 180}{8.6 + L_0}$	$\frac{\sigma \times 364}{10.4 + L_0}$

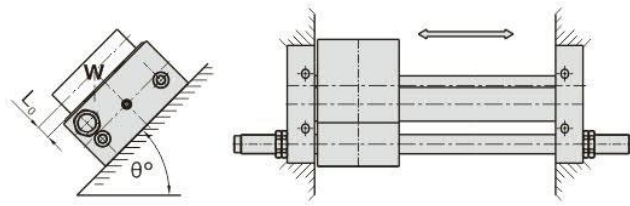
1.3.3. 水平動作（負荷重心と動作方向が一致で、スライドブロック重心より離れる場合）



注: L_0 単位:cm

内径	16	20	25	32	40
最大負荷 質量 W(kg)	$\frac{\sigma \times 17.5}{5.0 + L_0}$	$\frac{\sigma \times 36}{6.0 + L_0}$	$\frac{\sigma \times 60}{6.0 + L_0}$	$\frac{\sigma \times 105}{7.0 + L_0}$	$\frac{\sigma \times 200}{8.0 + L_0}$

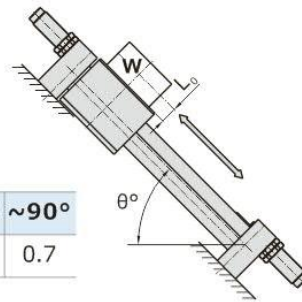
1.3.4. 傾け動作（動作方向と重心方向が垂直となっている場合）



注: L₀単位:cm

内径	16	20	
最大負荷 質量 W(kg)	$\frac{\sigma \times 36.4}{5.2 + 2(2.7 + L_0)\sin\theta}$	$\frac{\sigma \times 74.4}{6.2 + 2(2.9 + L_0)\sin\theta}$	
内径	25	32	40
最大負荷 質量 W(kg)	$\frac{\sigma \times 140}{7 + 2(3.4 + L_0)\sin\theta}$	$\frac{\sigma \times 258}{8.6 + 2(4.2 + L_0)\sin\theta}$	$\frac{\sigma \times 520}{10.4 + 2(5.1 + L_0)\sin\theta}$

1.3.5. 傾け動作（動作方向）

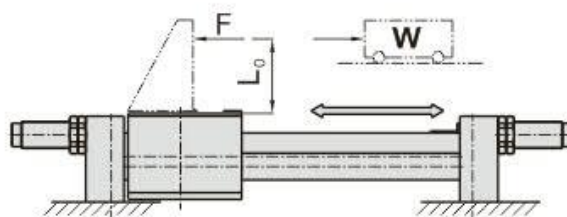


角度	~45°	~60°	~75°	~90°
角度係数K	1	0.9	0.8	0.7

注: L₀単位:cm

内径	16	20	
最大負荷 質量 W(kg)	$\frac{\sigma \times 35 \times k}{5\cos\theta + 2(2.7 + L_0)\sin\theta}$	$\frac{\sigma \times 72 \times k}{6\cos\theta + 2(2.9 + L_0)\sin\theta}$	
内径	25	32	40
最大負荷 質量 W(kg)	$\frac{\sigma \times 120 \times k}{6\cos\theta + 2(3.4 + L_0)\sin\theta}$	$\frac{\sigma \times 210 \times k}{7\cos\theta + 2(4.2 + L_0)\sin\theta}$	$\frac{\sigma \times 400 \times k}{8\cos\theta + 2(5.1 + L_0)\sin\theta}$

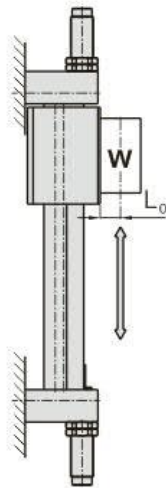
1.3.6. 水平動作（負荷重心が離れている場合）



注: L₀単位:cm

内径	16	20	25	32	40
最大負荷 質量 W(kg)	$\frac{\sigma \times 17.5}{2.7 + L_0}$	$\frac{\sigma \times 36}{2.9 + L_0}$	$\frac{\sigma \times 60}{3.4 + L_0}$	$\frac{\sigma \times 105}{4.2 + L_0}$	$\frac{\sigma \times 200}{5.1 + L_0}$

1.3.7. 垂直動作



注: L₀単位:cm

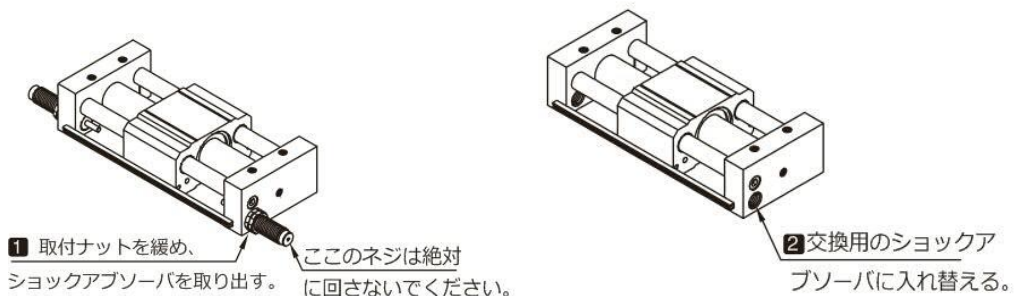
内径	16	20	25	32	40
最大負荷 質量 W(kg)	$\frac{\sigma \times 13.23}{2.7 + L_0}$	$\frac{\sigma \times 26.8}{2.9 + L_0}$	$\frac{\sigma \times 44}{3.4 + L_0}$	$\frac{\sigma \times 88.2}{4.2 + L_0}$	$\frac{\sigma \times 167.8}{5.1 + L_0}$

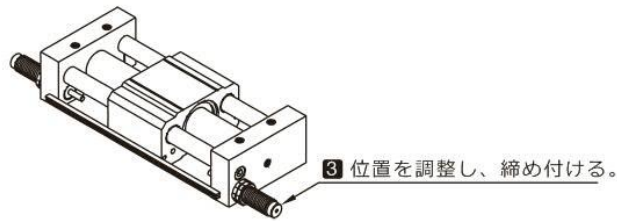
2. ショックアブソーバ

2.1. ショックアブソーバの寿命および交換時期カタログ使用範囲内における使用可能な作動回数(寿命回数)は下記を目安として ください。

2.2. ボディ底部のねじは絶対に回さないでください。調整用ねじではありません。油漏れの原因になります。

2.3. ショックアブソーバのロックナットの締付は下表に従ってください。



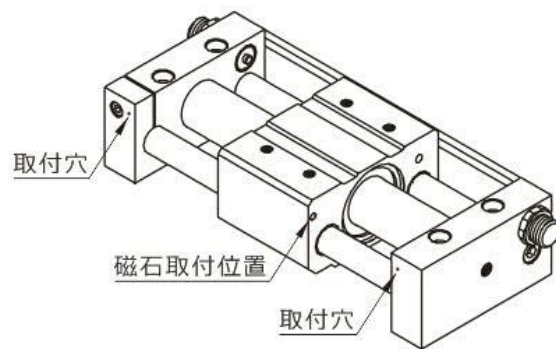
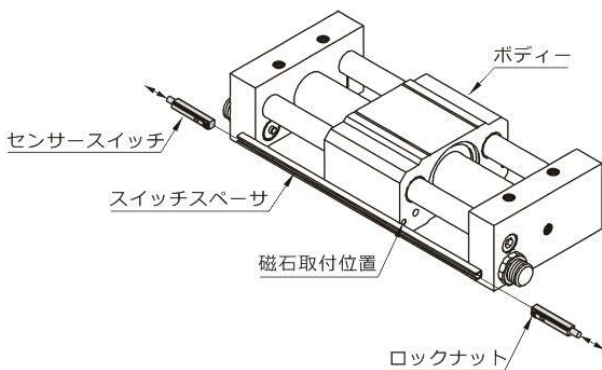


機種	RMT16	RMT20	RMT25	RMT32	RMT40
ショックアブソーバ	ACA1006-A	ACA1007-1N	ACA1412-1N	ACA2020-1N	ACA2020-1N
締付トルク(Nm)	1.67	1.67	3.14	10.80	10.80

3. センサースイッチについて

3.1. 磁石付シリンダのみにセンサースイッチの取付が可能。オートスイッチはスイッチスペーサと組み合わせることで スイッチレールの取付溝に固定することができます。

適用可能なセンサースイッチについて、下表をご参照ください。



機種	RMT16	RMT20	RMT25	RMT32	RMT40
センサースイッチ	CS1-G、CS1-GX、DS1-G、DS1-GN、DS1-GP				